会　議　録

| | | |
|---|---|---|
| 会議名 | 令和８年度第２回東浦町食育推進委員会 | |
| 開催日時 | 2026 年８月 24 日（月）<br>午後２時 00 分から午後３時 30 分 | |
| 開催場所 | 東浦町勤労福祉会館　会議室１ | |
| 出席者 | 委員 | 太田江美氏、水野善久氏、山﨑紀恵子氏、青山侑未氏、久野郁恵氏、田島由美子氏、孝森幸子氏<br>水野正明氏　３名欠席 |
| | 事務局 | 水野健康課成人保健係長、園田健康課成人保健係主査、水野商工農政課農政係長、鶴島商工農政課農政係主事、小田商工農政課商工労政係長、榊原商工農政課商工労政係主事、若狭ふくし課地域共生社会推進係主事 |
| 議題等 | １　Re-Bone グルメグルぐるキャンペーン 2026 について<br>２　今後の朝食の取り組みについて<br>３　東浦町立保育園での食育の取り組みについて<br>４　その他 | |
| 傍聴者の数 | ０名 | |
| 審議内容 | ◆事務局<br>・委員の出席及び会議の成立を確認<br>・委員長あいさつ<br>（議題１）Re-Bone グルメグルぐるキャンペーン 2026 について<br>◆事務局<br>　7月 17 日より、本キャンペーンが開始している。グルメ提供店今年は 12 件参加。今年から新たに２件の店舗が出店。<br>　現在のキャンペーンの申込み状況については、紙の集計はキャンペーン中のため現段階では未集計、LINE の集計は８月 20 日時点では、55 件の申し込みが来ている。<br>　本キャンペーンが開始から５年目を迎えていることから、本キャンペーンという形での実施が、今年度で一区切りとなる。その上で、Re-Bone グルメの新たな周知方法を検討していきたい。<br>◇委員 | |

| | |
|---|---|
| | 前回の応募数と今回の飲食店での手ごたえを教えてください<br>◆事務局<br>昨年度はおおよそ 300 件 LINE の応募があった。<br>◇委員<br>すこし熱が冷めてきたような印象があります。次なる一手を考えていきたいなと思う。<br>◇委員長<br>うちのお店は爆発的ではないですが、少しずつ伸びてきているかなという印象。<br>◇アドバイザー<br>このようなキャンペーンの一番大事なところは「コンセプト」です。１年ごとに主となる対象者を変えていき最終的に全世代が届くようにすることが大切。<br>また、おからと摘果ぶどうは東浦町で絶対に普及していかないといけない。しっかり計画を決めて行っていくともに前回の反省を生かして企画を行っていくことが必要である。<br><br>（議題２）今後の朝食の取り組みについて<br>資料２-①、２-②、２-③で今後の朝食の取り組みについて説明。<br>◆事務局<br>朝食習慣の違いに着目をし、段階ごとに進めていく。朝食事業を進めていくあたりキャッチフレーズを募集する。広報９月号で募集を行い、産業まつりで投票を行う。12 月の骨折予防プロジェクト講演会でキャッチフレーズを発表する予定。<br>また、東浦町いきいき健康プラン 21 で成人期の朝食欠食が多いため、第１フェーズでは広報等で周知を進めていく予定。第２フェーズで朝食の見直しを意識してもらうことを目的に東浦町朝食見直しキャンペーン（仮）事業を行い、各課題に取り組んでいけるようにバックアップを行っていく。第３フェーズでは、第１、第２フェーズの反省を生かして考えていく予定。<br><br>◇委員長<br>意見・質問を問う。<br>◇委員<br>朝食喫食率が 80.1%という実績の実感がわかないのですが、この数値の分母を教えてください。 |

| | |
|---|---|
| | ◆事務局<br>　東浦町いきいき健康プラン 21 を策定するために町内の 10 代から 70 歳以上を対象に町民 2000 人にアンケートを取りました。回答としては約 600 人から回答があった。<br>◇委員<br>　朝食を食べると体調が悪くなるという声も聞くので成人期が食べていないのは納得だなと思う。<br>◇委員<br>　自分自身が子供に朝食を食べさせることを優先してしまっており、時間がないので朝食を食べられていない。<br>　町公式 LINE もあるのでそこで簡単に作れるレシピを周知してもらえると助かる。<br>◇委員<br>　保育園児に朝食の大切さを伝えているが、ある園児がパパとママが朝食を食べていないから自分も食べていないという園児がいる。大人は朝食の大切さを知っていながら食べていないという人もいると思うし、体調面から食べない選択肢を取るなど様々な要因があると思う。<br>◇委員<br>　生活リズムが大きなポイントかなと思う。朝食が食べたいと思うような生活リズムにしていくことが必要だと思う。夜ご飯から朝食について考えられるようにアプローチしていくことも良いと思う。<br>◇アドバイザー<br>　朝食をなぜ食べないといけないのかを分かってもらわないといけない。生活時計をリセットするための要素になる。<br>朝食は生きるために大切ということを周知していく必要がある。委員のいったとおり、朝食を食べている人の実態はアンケートの数値のとおりではないと思う。小学校でアンケートをとり子供とその親が食べているのかということを聞けばそれが本当の数値だと思う。各年代へのアプローチをするために数値をもう少し調査をした方がいいと思う。<br>　重要なのは子ども世代で、学校で朝食の啓発を推進していくのが大切だと感じている。活動の一環として私が小学校を回るなどでも良いので皆さんの意見を整理して計画を組んでいただきたい。 |

| | |
|---|---|
| | ◇委員長<br>　子供たちはタブレットを持っているので簡単にアンケートが取れると思う。<br><br>（議題３）東浦町立保育園での食育の取り組みについて<br>◇委員<br>　東浦町立保育園での食育の取り組みについて報告。<br>　トーエイ（株）さんと保育園の年長児にお米作りについて紙芝居等を活用し説明を行った。今年度は４園に訪問し、来年度に残りの４園に訪問する。<br>　実際の稲や玄米、白米に触れることができ、貴重な体験になった。<br>◇委員長<br>　意見・質問を問う。<br>◇委員<br>　とても良い取り組みだと思う。<br>　実際に田植え作業などを体験できる機会が増えると良いなと思う。<br>◆事務局<br>　東浦町は田んぼが多いので取り組みを広げていけると良いなと思う。今年度の冬にはぶどう農家さんの講演も予定しているのでまた良い報告ができるかと思う。<br>◆事務局<br>　トーエイさんが行っている卯ノ里小学校の田植え体験に参加した。自分の体験を通して学ぶということが学びにつながっていく良い活動だと思うのでこの活動を広げていけると良いなと感じた。<br>◇アドバイザー<br>　トーエイさんの活動は素晴らしいと思う。バラバラで活動するのではなく、朝食とつなぎ合わせたりすることが大切。<br>　町内だけで活動するのではなく、農業高校などと連携して活動をしていくなど広くつなげていくことも大事。<br>◇委員<br>　この委員会は複数の課が横断的に事業を推進しているかと思うので特定の人、部署より全体で協力して取り組んでいけると良いと思う。 |

| | |
|---|---|
| | ◇アドバイザー<br>　知多半島は 2030 年に高齢化のピークを迎え全国的に見ても早い地域となる。地域背景や時代背景をみていくとやるべきことが決まっていくのでそこを踏まえて取り組んでいくのも良いと思う。<br>◇委員<br>　こども計画の中でも食育について述べられているので教育課の参入等も考慮していただければと思う。<br>◇アドバイザー<br>　良いことはそれぞれやっているので横のつながりを作っていけると良いと思う。１年で１つずつ繋げていけば良い。<br>　必ずやるということを１個決めてやっていくということが大切。<br><br>閉会。 |